



みんなでつくる！東京の野生生物目録

東京いきもの調査団

TOKYO Digital Wildlife Inventory

2024 活動レポート

東京いきもの調査団 2024

1,400万人が暮らす日本最大のメトロポリスでありながら、奥多摩の山地から、丘陵地や市街地の緑地や水辺、海に囲まれた島しょ部まで、多様で豊かな自然がある東京都。

「東京いきもの調査団」では都民の皆さんを団員として、いきものコレクションアプリ「Biome(バイオーム)」を使って、都内の野生生物の状況を明らかにしています。アプリでは季節ごとに様々な調査を行い、夏と秋には特別調査も企画し、1年間で43のクエストを行いました。

これらの市民参加型の調査結果は、デジタル版の野生生物目録「東京いきもの台帳」に活用されています。なお「東京いきもの台帳」には、他にも専門家や有識者によって過去から現在までに確認された情報を収録し、いきものの生息状況を網羅的に整理しています。

市民科学



全調査期間

2024年5月22日～
2025年3月31日

参加者数

14,032 人

全投稿数

146,647 件

いきものを見つけて
写真を投稿！



特別
調査期間

夏編 2024年7月18日～9月17日
秋編 2024年10月16日～12月15日

全投稿数

127,621 件

区部	71,924 件	伊豆諸島	1,404※ 件
多摩部	53,562 件	小笠原諸島	731※ 件

※海上での投稿含む

標本・文献

標本や文献から抽出した生息・生育記録

観察記録

有識者による調査記録

デジタル版野生生物目録

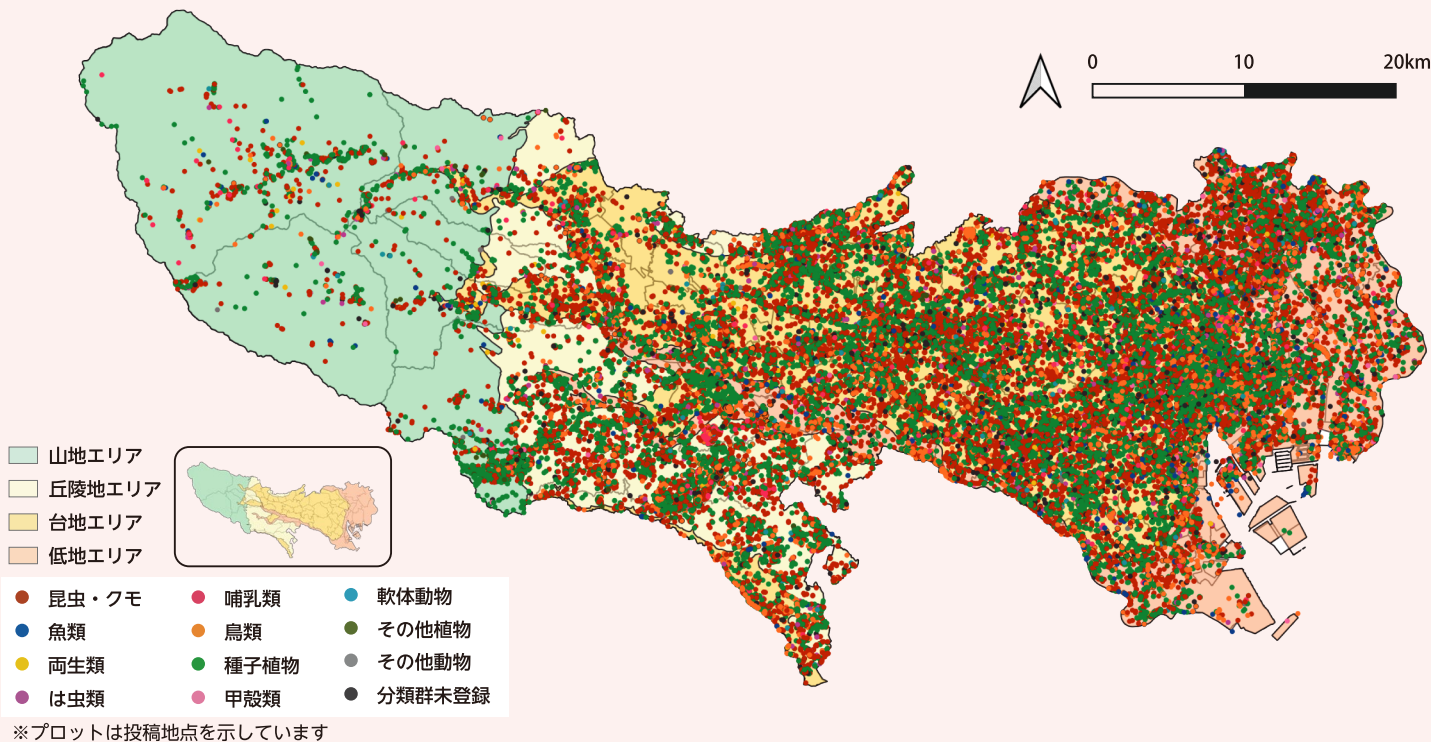
東京いきもの台帳

TOKYO Digital Wildlife Inventory

画像は実施したクエストの一部です

※クエスト：Biome アプリで期間・場所を指定し、いきもの調査をおこなう機能

区部・多摩部の いきもの調査



東京都の区部・多摩部は、豊かな自然と都市が共存するエリアです。西側には標高 2,017m の雲取山をはじめとする山地エリアが広がります。その東側には、人々の営みとともに育まれた里山の景観が楽しめる丘陵地エリアが広がります。台地エリアでは宅地開発が進む一方、河川や崖線に沿って樹林帯などが残されています。低地エリアでは市街地が広がる中、都市公園などに比較的大きな樹林地や水辺が点在しています。

区部・多摩部の調査では、こうした多様な環境に、さまざまな野生生物が生息・生育していることが明らかになりました。

山地エリア

特別天然記念物であるニホンカモシカといった大型哺乳類やトビなど猛禽類の投稿が寄せられました。また、多摩川や秋川流域の岩場からは、イワタバコなどの植物の投稿が寄せられました。



トビ



オオアオカミキリ



ニホンカモシカ



イワタバコ

丘陵地エリア

瑠璃色の帯模様が美しいルリタテハや、減少傾向といわれる両生類のニホンアカガエルなどの投稿がありました。一方で、ガビチョウなどの外来種も確認されており、在来種への影響が心配されます。



ルリタテハ



ガビチョウ



ニホンアカガエル



アオダイショウ

台地・低地エリア

都市の中の緑地では中型哺乳類のタヌキや希少植物のキツネノカミソリが、湾岸部ではイソシギなどが確認されました。また、特定外来生物クビアカツヤカミキリも投稿されました。



イソシギ



タヌキ

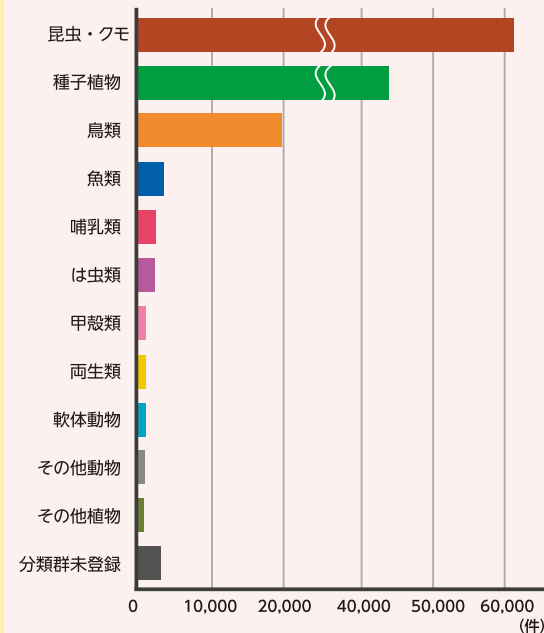


キツネノカミソリ



クビアカツヤカミキリ

分類群ごとの投稿数

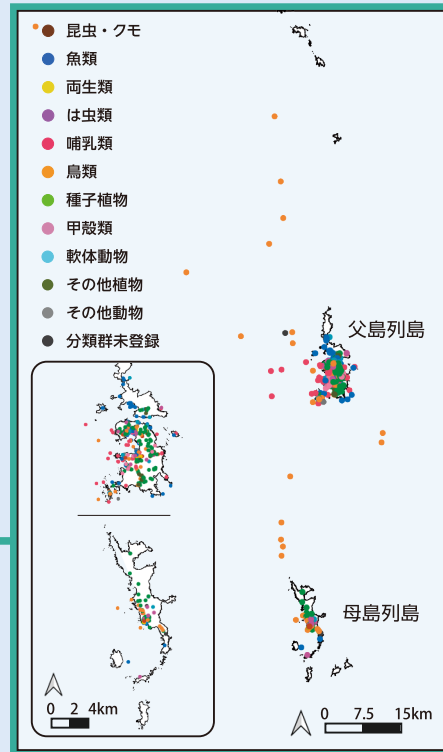


島しょ部のいきもの調査

伊豆諸島と小笠原諸島は、どちらもこれまで一度も大陸と陸続きになったことのない「海洋島」です。こうした島々にすむいきものたちは、風や海流や鳥などの力で、偶然それぞれの島にたどり着いた数少ない祖先から、進化してきました。そして、それぞれの島や諸島だけに見られる「固有種」となったものもいます。

伊豆諸島

多くの島々が現在も活発な火山島であることから、天敵となる哺乳類や爬虫類が少ない「野鳥の楽園」となっています。一方、三宅島では人間活動に伴ってニホンイタチなどが侵入したことで、鳥類への被害が懸念されています。



小笠原諸島

東京都の最南端に位置する島々で、数多くの固有種が生息・生育し「東洋のガラパゴス」と呼ばれるほど特徴的な生態系を形作っています。オガサワラオオコウモリなどの固有種が投稿される一方で、近年深刻な問題となっているオオヒキガエルなどの外来種も投稿数の上位を占めていました。

本土部では希少種でも・・・

島しょ部の国内外来種

人間の活動によって、本来の生息地ではない場所に移動、定着させられたいきものは「外来種」と呼ばれます。海外から来たものと比較して、日本国内の別の地域からやってきたものは「国内外来種」と呼ばれます。

今回の調査では、本土部から離れた島しょ部にも、数多くの国内外来種が侵入していることが確認されました。その中には、本土では絶滅が心配されているアカハライモリやアズマヒキガエルのような希少種も含まれていました。しかし、島しょ部では、独自の生態系がすでに出来上がっているため、本土部の希少種であっても、国内外来種として侵入先の島の生態系へ悪影響を及ぼすことが懸念されています。





いきものクエスト ピックアップ!

情報求む!マルバツユクサの分布

市民調査で分かった

マルバツユクサの分布状況

調査期間 2024 年 7 月 28 日 ~ 12 月 15 日

投稿者数 554 人

マルバツユクサ 88 件

ツユクサ 724 件

マルバツユクサは、日本では琉球諸島から関東以西に分布し、海岸に近い砂質地に生育すると言われてきました。しかし今回の調査では海に近い都心部だけでなく、内陸の丘陵地帯からも多くの投稿がありました。マルバツユクサは地上の開放花だけでなく、土中に数多くの閉鎖花も作ります。そのため地上部が刈られても子孫を残すことができ、繁茂しやすい傾向があります。

植物クエスト 専門家からのひとこと

熱帯に広く分布するマルバツユクサが、本土にも広く生育していることが分かりました。

今後の分布拡散の様子にも注意する必要がありそうですね。



東京いきもの調査団植物調査事務局
東京都立大学牧野標本館

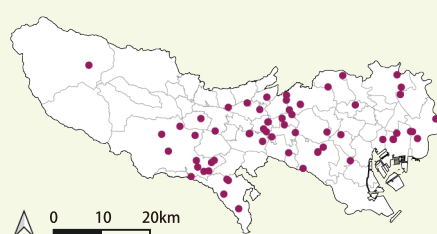
内野 秀重 氏

国内外来種



© イノモトソウ

マルバツユクサ *Commelina benghalensis*



● マルバツユクサの投稿地点

マルバツユクサは、葉が丸みを帯び、縁が波打っているのが特徴です。また、葉の表面には毛が生えています。花びらの大きさは 4~5mm 程度で、ツユクサの花に比べると小さく、色も淡い青色です。苞(花を包む葉)の基部がくっついており、漏斗のような形をしていて開きません。

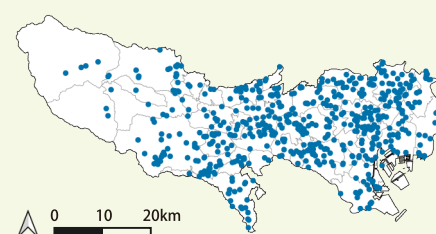
在来種



© tones1965

© けいっさ

ツユクサ *Commelina communis*



● ツユクサの投稿地点

ツユクサは、日本に広く自生し、マルバツユクサと同じ初夏から秋にかけての時期に花を咲かせます。葉が細長く、表面に毛は生えないのが特徴です。花びらはマルバツユクサよりも濃い青色で大きく、長さは約 10mm ほどです。苞は下の部分がくっつかず、開いています。



アップデート!東京いきもの台帳

東京いきもの台帳 セミ目録

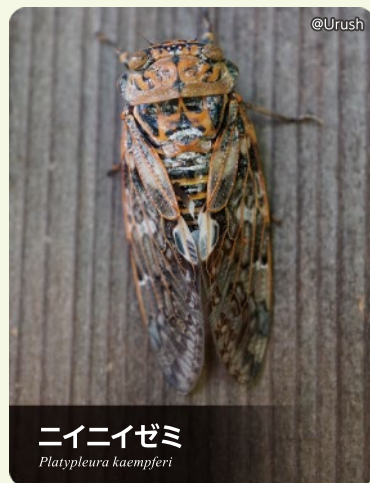
その鳴き声などが夏の風物詩にもなっているセミですが、植栽などの人間活動に伴い移入し、その後分布を広げている種もいれば、侵略的外来種による捕食の影響などで数を減らしている種もあります。こうしたセミの生息状況を正確に把握していくことを目指し、「東京いきもの台帳」にセミの情報を加えました。

ここに注目!セミ目録

市民と専門家でつくる デジタル版目録

市民科学情報や文献・標本の記録を合わせて17種（偶産種を含む）、約5,000件の情報が集められています。市民による調査では、学術調査では記録されにくい、身近に見られる種の情報も多く報告されました。

なお、市民科学のセミ情報の約9割をアブラゼミ、ミンミンゼミ、ニイニゼミ、ツクツクボウシが占めています。今後、その他の種にも着目し、市民のチカラでさらに調査を進めることが、都内のセミの分布情報の解明につながっていくと考えられます。



ニイニゼミ
Platypleura kaempferi

広葉樹林で見られる小型のセミです。「チー—」と長く延ばし、抑揚をつけながら鳴きます。

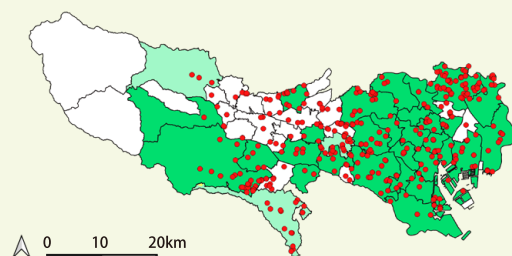
都心部でもよくみられるセミですが、市民科学調査により、過去の文献などでは情報が少なかった台地部にも、広く分布していることが示されました。



クマゼミ
Cryptotympana facialis

黒い大きな体が特徴のセミです。主に午前中に「シャーシャー...」と腹部をはげしく動かしながら鳴きます。

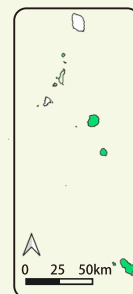
植栽などに伴い都内に入ったといわれる「国内外来種」にあたります。1930年代に都心部で定着が確認されましたが、市民科学調査により、丘陵地エリアにも広がっていることがわかりました。



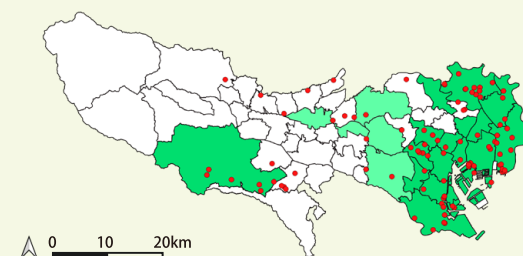
0 10 20km

文献標本・観察記録 最新確認年

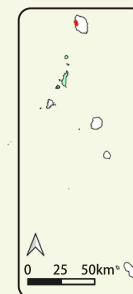
□ 記録なし □ ~1970 □ 1971~2000 ■ 2001~ ● 市民科学調査（アプリ「Biome」での投稿地点）



0 25 50km



0 10 20km



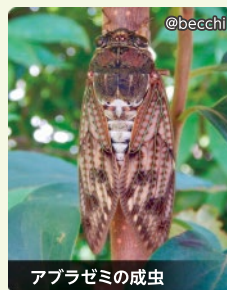
0 25 50km

市民科学情報

ひと夏の思い出が台帳記録に



約3,000件の投稿写真の中には、成虫だけでなく、幼虫や羽化の様子、ぬけがらなど様々な情報が含まれていました。セミはぬけがらでも種を知ることができるので、それらも分布情報の大事な記録となりました。



アブラゼミの成虫



ミンミンゼミの羽化



ツクツクボウシのぬけがら

セミ目録 専門家からのひとこと

市民調査による投稿の中には、ときに学術的にも価値ある新知見が得られることもあります。野外に出てセミを聞いて、観て、記録してみよう。



セミ目録監修
日本セミの会代表幹事

林 正美 氏



アップデート!東京いきもの台帳

東京いきもの台帳 クモ目録

クモは小さな昆虫などを捕食する一方、鳥やカエルなどの他の生物の餌にもなっています。このように、クモは様々な生物と関わり合いながら**生態系を支える存在**です。自然環境を把握する上で重要となるクモの情報を「東京いきもの台帳」に加えました。

ここに注目!クモ目録

クモと紐解く 古の記憶

いにしえ

今回の目録には、海外の博物館に所蔵されていた145年前の東京産標本から、最新の市民調査の記録まで、幅広い時代の情報を約45,000件収録しました。

種数としては全国の都道府県の中で最も多い693種となり、国内で記録された種の約4割にあたります。東京は、面積は小さいものの、山地や島しょ、市街地など、多様な環境を有していることが、クモの多様性を支えていると考えられます。一方で、都市化や外来種の影響を受け、数を減らしている種もあります。

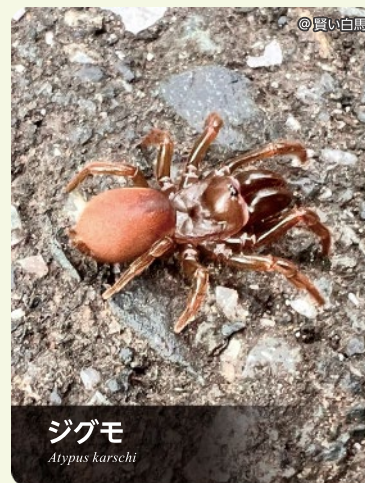
東京のクモの多様性の変化を知るためにも、引き続き市民調査による記録が欠かせません。



アシダカグモ
Heteropoda venatoria

アシダカグモは徘徊性の大型のクモで、人家などでも見られます。

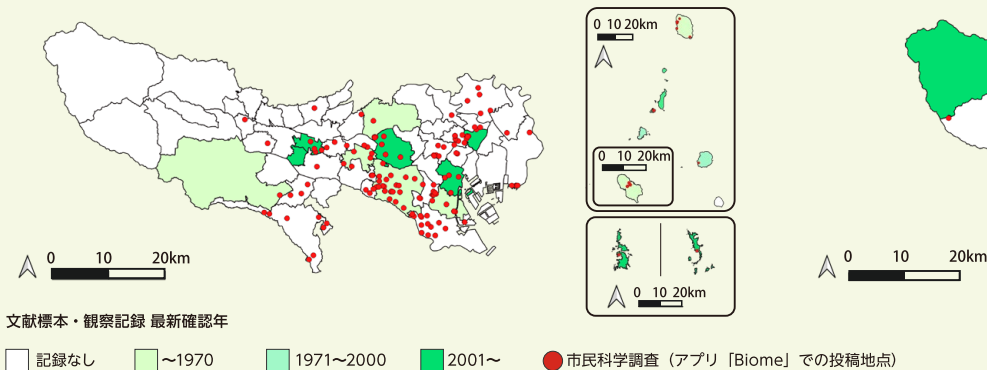
市民科学調査により、文献記録などが乏しいエリアにも広く分布していることが分かりました。本種は南方系の外来種で、その分布拡大は温暖化の影響を受けている可能性が示唆されているため、今後の調査でも注目です。



ジグモ
Atypus karschi

ジグモは、垣根の根元などの地下に穴を掘り袋状の巣を作るクモです。

都心ではあまり見かけなくなってしまった本種ですが、八王子市を中心に台地エリアや丘陵地エリアではよく確認されました。今回の市民科学調査では、区部でも確認されていることがわかりました。



市民科学情報

Let's スパイダーウォッチング!

約4,200件の投稿写真の中にはハエトリグモなどの徘徊性の種から、ジョロウグモのように網を張る種まで、さまざまなクモが確認されました。

また、ヒラタグモが獲物を糸で包んで捕食する様子も撮影されました。いきもの同士のつながりを感じさせる貴重なシーンです。



歩いて獲物を探す
アダンソンハエトリ



大きな網を張る
ジョロウグモ



獲物を糸で包んで
捕食するヒラタグモ

クモ目録 専門家からのひとこと

クモ相*は環境の変遷とともに絶えず変化します。クモの記録をとり続けることは、人類の未来を占う上で非常に大切なことだと思います。

※クモ相：特定の地域に生息するクモの種組成



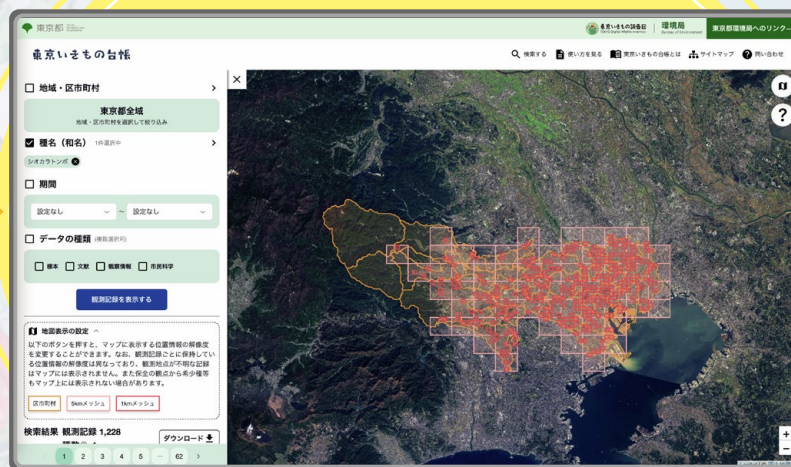
クモ目録監修
国立科学博物館名誉研究員
小野 展嗣 氏

東京いきもの台帳とは

「東京いきもの台帳」とは、東京で過去から現在までに確認された野生生物の情報を網羅的に整理したデジタル版目録です。野生生物の情報をデジタルマップ上に表示できる Web 検索システムとなっています。知りたいいきもの名前で検索すると、そのいきものが、いつ頃どんな場所にいたのかを表示することができます。また、調べたい場所から検索すると、その場所に、いつ頃どんないきものがいたのかを表示することができます。

みんなで作る！野生生物目録

「東京いきもの台帳」



詳しくは
公式ウェブサイト
をご覧ください。



<https://www.inventory.ikimono.metro.tokyo.lg.jp/>

有識者によるデータの検証

データベースとして一元管理

標本・文献

標本や文献から抽出した
生息・生育記録

観察記録

有識者による調査記録など

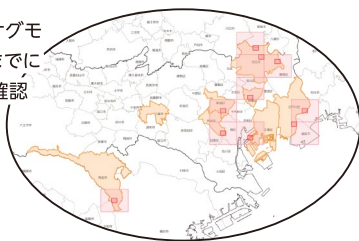
市民科学

都民による
いきもの調査などの記録



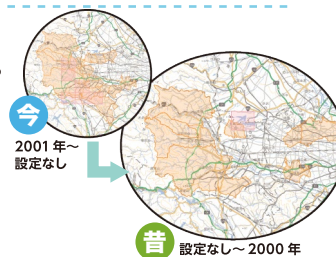
最近ニュースで見た外国から入ってきたクモ、
どこに記録があるのかな？

特定外来生物のセアカゴケグモ
を種名で検索すると、これまでに
記録がある場所が地図上で確認
できます。



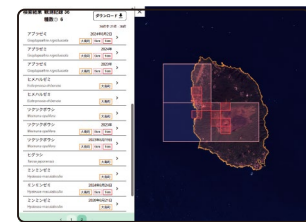
学校の先生が昔見たと言っていた
珍しいトンボ、今もいるのかな？

区部では絶滅したと考えられ、
現在は山地から丘陵地で見られる
ヤマサナエ。台帳の検索期間を
「設定なし～2000年」に
設定すると、以前は区部でも
見られたことがわかります。



伊豆大島にセミは何種類いる？
家から調べられるかな？

「地域・区市町村」から
大島町を選択すると、
これまでに記録されたセミの
データを確認することが
できます。



みんなで作る！東京の野生生物目録

東京いきもの調査団

TOKYO Digital Wildlife Inventory

2024 活動レポート



編集

株式会社バイオーム

発行

東京都環境局自然環境部計画課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
☎ 03-5388-3548

登録番号 第(7)14号

環境資料 第37013号

令和7年5月発行

みどりと生きるまちづくり
ToKyo GREEN BIZ